令和８年度当初予算（案）における復興の主な取組

資料２－１

基本的な考え方

○**第２期復興推進プランに基づき、**復興の目指す姿**「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」**を実現するため、**「より良い復興～４本の柱～①安全の確保、②暮らしの再建、③なりわいの再生、④未来のための伝承・発信」**のもと、あらゆる世代が希望を持っていきいきと暮らし、将来にわたって持続可能な新しい三陸地域の創造を目指し復興の取組を推進

柱 1　安全の確保　～防災のまちづくり、交通ネットワーク～

主な事業

拡 ○ **災害マネジメントサイクル推進事業費**　**2 百万円**　［復興防災部］
「災害ケースマネジメント」を推進するため、新たに関係民間団体等とのネットワーク会議を開催するとともに、「事前復興まちづくり」を促進するため、市町村向けの研修会等を実施

拡 ○ **自主防災組織強化事業費**　**7 百万円**　［復興防災部］
自主防災組織の活性化や県民の防災意識の向上を図るため、自主防災組織の中核人材を育成する各種研修会の開催、地域防災サポーター制度を活用した出前講座などを実施するとともに、新たに地域防災のあり方の検討を実施

拡 ○ **通信施設管理費**　**74 百万円**　［復興防災部］
災害情報の効果的な収集及び伝達体制を確保するため、令和７年度に整備した地域衛星通信ネットワークの運用を開始するとともに、「危険警報」など新しい防災気象情報の運用に対応するため、システム改修を実施

○ **広域防災拠点設備等整備費**　**13 百万円**　［復興防災部］
大規模災害に備えた防災体制を構築するため、広域防災拠点への食料等を備蓄

○ **個別避難計画作成支援事業費**　**1 百万円**　［復興防災部］
市町村における個別避難計画の作成を支援するため、市町村向け研修会や意見交換会等を実施

○ **河川等災害復旧事業費**　**13,041 百万円**　［県土整備部］
津波防災施設の整備を実施

○ **災害時学校支援チーム構築事業費**　**2 百万円**　［教育委員会］
県内外で大規模災害等が発生した際に学校教育の早期再開を支援し、子どもたちの学びを確保するため、災害時の学校運営に関する専門的知識や実践的な対応力を備える教職員を育成

復興の推進に係るポイント

柱 2　暮らしの再建　～生活・雇用、保健・医療・福祉、教育・文化・スポーツ、地域コミュニティ、市町村行政機能支援～

主な事業

○ **被災者生活支援事業費**　**37 百万円**　［復興防災部］
いわて被災者支援センターにおいて、市町村など関係機関とより一層連携し、経済面や生活設計などの課題を抱える被災者を支援

○ **児童養育支援ネットワーク事業費（被災児童対策事業費）**　**52 百万円**　［保健福祉部］
震災による様々な影響により精神的不調をきたしている子どもを支援するため、こころのケアや支援者等への研修を実施

拡 ○ **被災地こころのケア対策事業費**　**300 百万円**　［保健福祉部］
被災者の精神的負担を軽減するため、「岩手県こころのケアセンター」及び「地域こころのケアセンター」を運営し専門的ケアを実施するとともに、沿岸地域の精神保健医療体制を強化

拡 ○ **いわての復興教育推進事業費**　**50 百万円**　［教育委員会］
「いわての復興教育」プログラムに基づき全県的な復興教育を推進するため、いわての復興教育スクールの取組を内陸部に拡大するとともに、「いわての復興教育」副読本や絵本の英語版により国内外に復興教育を発信

拡 ○ **被災地スポーツ交流推進事業費**　**5 百万円**　［文化スポーツ部］
被災３県及び東京都の子どもたちとのスポーツ交流事業を通じ、東日本大震災津波からの復興を広く伝えるほか、新たにラグビーを通じた全国の高校生との交流の場において震災学習等の機会を提供

新 ○ **持続可能なコミュニティ支援促進事業費**　**4 百万円**　［復興防災部］
災害公営住宅の自治会活動の活性化等に取り組む市町村を支援するため、ノウハウ提供や専門家による助言等を実施

柱 3　なりわいの再生　～水産業・農林業、商工業、観光～

主な事業

○ **マーケットイン型サーモン養殖推進事業費**　**3 百万円**　［農林水産部］
海面養殖サーモンの更なる生産拡大を図るため、高品質かつ高水温等気候変動に対応した新種苗の開発や、ＩＣＴ機器を活用した種苗の効率的な生産体制の構築に向けた技術検証を実施

新 ○ **県産養殖サーモンブランド化推進事業費**　**5 百万円**　［農林水産部］
県産養殖サーモンの県外での知名度向上を図るため、生産・加工・流通分野が一体となってキャッチフレーズやロゴマークを用いたブランディング等を実施

○ **さけ資源緊急回復支援事業費補助**　**266 百万円**　［農林水産部］
サケ資源の回復を図るため、親魚の確保等に要する経費を補助（補助率：10/10、補助対象：さけ・ます増殖協会）

柱 3　なりわいの再生　～水産業・農林業、商工業、観光～　（続き）

新 ○ **環境変化に対応した水産業再生応援事業費**　**17 百万円**　［農林水産部］
近年の海洋環境の変化に対応するため、高水温に強い養殖種への転換等を支援するほか、増加している資源の利用を促進するため、販路拡大に向けた取組等を推進（補助率：定額、補助対象：漁業協同組合）

○ **大規模施設園芸企業誘致促進事業費**　**4 百万円**　［農林水産部］
沿岸地域の園芸振興や雇用創出を図るため、大規模な園芸施設の企業誘致に向け、市町村と連携した推進体制の整備や、モデル市町村における誘致活動等を実施

新 ○ **三陸復興いわてまるごと首都圏プロモーション事業費**　**23 百万円**　［商工労働観光部］
東日本大震災津波から15年の節目を迎えるに当たり、岩手県の観光・食・文化・暮らしの多彩な魅力を、首都圏や訪日外国人を対象とした「いわてのまるごと」を体感できる空間を設けてプロモーションを実施

拡 ○ **みちのく潮風トレイル受入態勢強化事業費**　**10 百万円**　［商工労働観光部］
地域の観光事業者や行政、ＤＭＯ等の多様な関係者と連携し、地域一体となった受入態勢の強化を図るとともに、新たに多言語対応が可能なトレイルガイドの育成や訪日旅行会社の招請、ＰＲ動画の作成による誘客拡大を推進

柱 4　未来のための伝承・発信　～事実・教訓の伝承、復興情報発信～

主な事業

○ **東日本大震災津波伝承館管理費**　**130 百万円**　［復興防災部］
東日本大震災津波伝承館の施設管理、展示解説、企画展示及び震災教育等の事業を実施

○ **復興情報発信事業費**　**20 百万円**　［復興防災部］
県内外の多様な主体と連携し復興を推進するため、「復興フォーラム」を開催するとともに、県内伝承施設や語り部などとの連携を強化し、東日本大震災津波伝承館を拠点とした事実・教訓の伝承・発信、国内外へのいわての復興情報の発信を実施

○ **震災津波関連資料収集・活用等推進事業費**　**4 百万円**　［復興防災部］
東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓を今後の国内外の防災学習等に生かすため、「いわて震災津波アーカイブ～希望～」に震災津波関連の記録を蓄積し、その活用を促進

○ **社会教育デジタル活用推進事業費**　**10 百万円**　［教育委員会］
県立図書館における「いわての復興教育」などのグループ学習の場の提供及び震災・防災に関して県内外へ情報発信を行うため、震災関連資料の収集及び資料のデジタル化を実施